

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/2 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約：8/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 <sup>*</sup> (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年4月12日	6.4	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成25年6月7日	5.6	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年4月24日	6.4	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年5月21日	9.3	-	9.4
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年6月18日	6.1	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年4月24日	9.0	-	ND
ガザミ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年5月21日	5.7	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年5月21日	6.5	-	4.2
スズキ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成25年4月20日	ND	0.33	530
クロソイ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成25年6月15日	ND	0.48	670

「-」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Ag-110mが約8.1Bq/kg(生)、Cs-134が約4.2Bq/kg(生)、Cs-137が約3.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

\* 魚全体で測定

## 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/2 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約: 8/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 <sup>*</sup> (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ヒラツメガニ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	平成25年4月23日	7.0	-	6.2
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>
<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>	<del> </del>

「 - 」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.1Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

\* 魚全体で測定